

駒ヶ根市議会議員

気賀沢葉子



ホームページを開設しました。
日頃の活動を掲載していきますので、どうぞご覧ください。
名前で検索できます！

平成28年が始まりました。 暮らしやすい駒ヶ根市をめざして 活動してまいります！

11月には「市民と議会の意見交換会」が行われました。私は、教育民生委員会の分科会に出席し、皆様のご意見を伺いました。教育問題、介護の問題、若い方の働く場などについて話し合われました。今後とも、関心を持っていただけるような市議会をめざしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

放射性廃棄物を含む産業廃棄物の最終処分場の建設が宮田村で計画されています。予定地は、天竜川と大田切川付近で、合流点には下平地区の農業用水の取水口もあります。12月の議会では、「豊かで優れた自然環境や水資源を将来へ亘って守ることを求める意見書」を全会一致で採択しました。この計画に反対する住民の会として「駒ヶ根の水と命を守る会」が発足しました。私も学習会に参加し事の重大さがわかり、市民の皆さまと共に反対していくつもりです。

全国の自治体では「地方創生」に向けた総合戦略が検討されています。視察研修などを通して痛感することは、自分たちの住んでいる地域にある埋もれた宝を再発見して、その地域に合った施策を行うことだと思っています。そこで、今回は以下の一般質問をしました。

12月定例会での一般質問

◆ 孤育てになりがちな母親・父親の支援を

気賀沢 平成28年度に経塚に新設される「子育て世代活動支援センター」は、駒ヶ根市の子育て支援の拠点施設となります。現在ある飯坂保育園の「子育て支援室」を引き継ぎ、一時預かりと子育て相談の機能が移転します。せっかくの節目となる機会に、運用面での新たな視点が必要では。

市 子育てグループの意見を反映し、保育の専門家だけでなく、子育て経験者が直接運営に参画できる仕組みを検討している。

気賀沢 子どもが健やかに育つためには、親への支援が必要です。子育ての孤立感から孤独の孤育てになりがちな親を支援するため、子育て経験のある市民と協働して進めていく考えはありますか。

市 いきいき交流センターを利用してボランティアグループが取り組みを実施している。今後も環境の整備を図ると共に地域あげての子育て支援体制が重要である。

◆ 文化財の顕彰は豊かな暮らしを市民にもたらし。具体的な取組みは

気賀沢 生まれ育った地域を誇りに思い、自己肯定感を持てるには「文化財の顕彰とそれを多面的に活用すること」が欠かせません。学校教育の取組みはどうなっているか。また、市民の暮らしを豊かにするための具体的な文化財の顕彰に取り組む考えはあるか。

市 転入職員すべてが駒ヶ根市の遺跡や文化財・施設を見学し、早太郎伝説・美女が森の歴史を知って授業に生かす取組みを始めている。また、人材育成の支援は重要。散策しながら文化財を身近に知ってもらおうツールである、文化財マップを作成している。